

平成30年度

副専攻コース履修案内

【平成29年度入学者用】

岡 山 大 学

目 次

1	副専攻コースの趣旨	1
2	コースの種類とコース開設学部等	1
3	履修対象者	2
4	履修の申請方法	2
5	履修の許可	2
6	履修の開始時期	2
7	履修方法等	3
8	修得単位の取扱い	3
9	修了証書の授与	4
10	その他の留意事項	4
	●各学部履修対象者判定基準	5
	●修了できなかった場合等の単位の取扱い	6
	●各コースの履修方法等	7

副専攻コースは平成30年度入学生より募集を停止しております。この冊子は平成29年度入学者を対象としています。

1 副専攻コースの趣旨

副専攻コースとは、学生の皆さんが所属する学部や学科等の専門分野で学習した知識を、さらに広い視野で有効に活かすことのできる能力を養ってもらうために、各学部が定めている教育課程（カリキュラム）とは別の教育課程として設けたもので、全21コースがあります。

副専攻コースは、所属学部の学習において優れた成績を修め、かつ、開設学部に入受けを許可された者を履修対象者としており、修了すると『修了証書』が授与されます。

ただし、副専攻コースで修得した単位は、原則として所属学部の卒業要件単位にはなりません。

この冊子をよく読んで、副専攻コースの履修方法や単位の取扱いを間違えないようにしてください。

2 コースの種類とコース開設学部等

副専攻コースの種類と受入予定人数及び学部等は、以下のとおりです。

ただし、平成29年度以前入学者に限ります。

コース名	受入予定人数	開設学部等
英語コース 日本語教育コース	40人程度 15人程度	基幹教育センター
ドイツ語コース フランス語コース	15人程度 15人程度	文学部
教育科学コース 小学校CSTコース	20人 若干人	教育学部
現代市民法専攻コース 公共政策専攻コース	5人 5人	法学部
数学コース 物理学基盤コース 物質科学コース 生物科学コース 地球科学コース	若干人 若干人 若干人 若干人 若干人	理学部
国際保健コース 放射線安全管理・応用学コース	5人程度 5人	医学部
システムマネジメントコース	10人	工学部
環境科学コース	5人	環境理工学部
農芸化学コース 応用植物科学コース 応用動物科学コース 環境生態学コース	5人 5人 5人 5人	農学部

3 履修対象者

副専攻コースの履修対象者は、平成29年度以前入学の次の学部学生で、所属学部の学習において優れた成績を修めている者として、各学部が定める成績優秀者としての判定基準は、5ページ「各学部履修対象者判定基準」のとおりです。

- ① 文学部 ② 教育学部 ③ 法学部（昼間コース） ④ 経済学部
⑤ 理学部 ⑥ 工学部 ⑦ 農学部 ⑧ マッチングプログラムコース
⑨ グローバル・ディスカバリー・プログラム

なお、次の学部の学生は、所属学部のカリキュラムとの関係から、副専攻コースを履修することはできません。

- ① 法学部（夜間主コース） ② 医学部 ③ 歯学部
④ 薬学部 ⑤ 環境理工学部

また、コースによっては、上記以外に、入学年度・所属学部等の条件がありますので、7ページ以降の「各コース履修方法等」を参照してください。

4 履修の申請方法

副専攻コースの履修を希望する場合は、次の表に示す時期に、所定の「副専攻コース履修申請書」（所属学部教務担当で受け取ってください。）により、所属学部の教務担当で申請手続を行ってください。

コースの区分	申請時期	提出先
1年次第1学期から2年次第2学期までに履修することができるコース	全コースとも、申請の時期は、 2年次の次の期間 です。 ただし、 <u>10月入学者</u> の場合は、 1年次の次の期間 です。 ※3	所属学部等の教務担当
2年次第3学期から履修することができるコース	平成29年度入学者の申請時期 《平成30年7月17日（火） ～7月31日（火）まで》	

注) 1 「1年次第1学期から2年次第2学期までに履修することができるコース」の授業科目は、コースが指示する履修順序に従って、1年次第1学期から2年次第2学期までの、いずれからでも履修を開始することができます。

2 なお、上記1の場合において、2年次第2学期分までの授業科目の履修登録は、通常の履修手続きのとおりです。

3 10月入学者の方で副専攻コースを希望する場合は、履修開始時期について、早めに学務部学務企画課教育支援グループ（一般教育棟A棟2階①番カウンター）へ相談してください。

5 履修の許可

履修の許可は、副専攻コース開設学部（基幹教育センターを含む。）が、学生の所属学部から優れた成績を修めている者として副専攻コース履修に係る申請があったものについて、審査等を行い決定します。

審査結果の学生への通知は、所属学部の教務担当を通じて行います。

通知方法・時期については、教務担当から別途掲示等により指示があります。

6 履修の開始時期

副専攻コースの履修開始は、原則として、2年次の第3学期からです。

ただし、コースによっては、教育効果等を勘案して、1年次第1学期などの早い段階から履修するよう指示していることがあります。この場合、各コースが

指示する時期から履修することが可能です。

ただし、コースの指示により、早い時期から履修している場合であっても、2年次（10月入学は1年次）の7月の申請時期に「4 履修の申請方法」による申請手続きが必要です。

また、申請の結果、副専攻コースの履修を認められなかった場合は、2年次第3学期以降、副専攻コースの授業科目を履修することはできません。

各コースが指示する履修の開始時期は、次のとおりです。

ただし、10月入学者の開始時期については、学務部学務企画課教育支援グループ（一般教育棟A棟2階①番カウンター）でお尋ねください。

なお、個々の授業科目の履修時期は、7ページ以降の「各コースの履修方法等」を参照してください。

コース名	履修の開始時期	コース名	履修の開始時期
英語コース	1年次第1学期から	物質科学コース	2年次第3学期から
日本語教育コース	1年次第1学期から	生物科学コース	2年次第3学期から
ドイツ語コース	1年次第1学期から	地球科学コース	2年次第3学期から
フランス語コース	1年次第1学期から	国際保健コース	2年次第3学期から
教育科学コース	1年次第1学期から	放射線安全管理・応用学コース	2年次第3学期から
小学校CSTコース	2年次第1学期から	システムマネジメントコース	2年次第1学期から
現代市民法専攻コース	2年次第3学期から	環境科学コース	1年次第1学期から
公共政策専攻コース	2年次第3学期から	農芸化学コース	2年次第3学期から
数学コース	2年次第3学期から	応用植物科学コース	2年次第3学期から
物理学基盤コース	2年次第3学期から	応用動物科学コース	2年次第3学期から
		環境生態学コース	2年次第3学期から

7 履修方法等

各副専攻コースの授業科目の履修方法及び修了要件等については、7ページ以降の「各コースの履修方法等」を参照してください。

各コースの授業科目の内容、講義番号、授業担当教員、教室等については、上記を参考に、各自で教養教育科目又は各学部作成のシラバス・時間割等により確認してください。

なお、全学開放ではない専門教育科目を Web で履修登録する際、学生さん本人では Web 登録できない場合があります。その際は所属学部の教務担当でお尋ねください。

8 修得単位の取扱い

副専攻コースで修得した単位は、教養教育科目を除き、原則として所属学部の卒業要件単位に算入されません。

(1) 2年次の第3学期より前までの取扱い

履修の開始時期が、2年次の第3学期より早い副専攻コースを履修している場合、修得した授業科目・単位の扱いは、教養教育科目、専門教育科目とも所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱い（全学で定めている教養教育科目の授業科目に係る取扱いを含む。）によります。

(2) 2年次の第3学期以降の取扱い（副専攻コースの履修を許可された時期以降）

履修を許可された者が、副専攻コースにおいて修得した授業科目・単位の扱いは、以下のとおりです。（2年次の第3学期より前に修得した単位も含む。）

① 教養教育科目については、所属学部が編成している教育課程の授業科目の取扱い

(全学で定めている教養教育科目の授業科目に係る取扱いを含む。)によります。
これに含まれない授業科目は、副専攻コースの教養教育科目として取扱います。

注) 1 所属学部の卒業要件単位となっている教養教育科目が、同時に副専攻コースを構成する授業科目に該当する場合は、この科目を卒業要件単位と副専攻コース修了要件単位の双方にカウントします。(ただし、経済学部夜間主コースについては双方のカウントの上限は20単位までです。)

2 全学開放の専門基礎科目は、平成28年度以降入学者は教養教育科目の知的理解科目として扱われます(平成27年度以前入学者の場合、教養教育科目の個別科目として扱われます)ので、副専攻コースを構成する授業科目に該当している場合は、この科目についても、副専攻コース修了要件単位として双方にカウントします。

② 専門教育科目については、副専攻コースの専門教育科目として取扱います。

(3) 成績証明書等への科目区分の表記について

成績証明書等への表記は、修得単位の取扱いの(1)及び(2)の取扱いに基づいて、「その他科目」として表記します。

(4) 副専攻コースを修了できなかった場合、履修を許可されなかった場合等の取扱い

副専攻コースを修了できなかった場合等の取扱いについては、6ページを参照してください。

9 修了証書の授与

副専攻コースを履修して修了要件を満たした場合は、卒業時に副専攻コース修了証書が授与されます。

また、副専攻コースの修了者には、「副専攻コース修了証明書(副専攻コースの全修得科目も記載)」を交付します。

10 その他の留意事項

所属学部の卒業要件を満たした場合は、副専攻コースの履修が途中であっても卒業となりますので、以後の履修はできません。

●各学部履修対象者判定基準（平成29年度入学者）

※平成29年度入学者に限ります。

学 部	判 定 基 準
文学部	2年次第2学期終了時まで45単位以上を修得し、修得した科目の1単位あたりの平均点が80点以上であること。 平均点の計算式はつぎのとおりとする。 (評価欄がA+, A, B, Cの科目の単位数×当該授業科目の評点)の総和 評価欄がA+, A, B, Cの科目の単位数の合計
教育学部	2年次第2学期までに60単位以上修得(評語が「修了」及び「認定」の単位を含む。)し、GPAが2.7以上であること。
法学部 昼間コース	2年次第2学期までに56単位以上修得し、修得した科目の平均点が80点以上であること。
経済学部 昼間コース 夜間主コース	2年次第2学期終了時まで、卒業要件算入単位を53単位以上修得し、修得した科目の平均点が80点以上とする。
理 学 部	以下の2つの条件をいずれも満たすこと。 ① 1年次終了時まで、履修修得単位数が40単位以上で、単位平均点が80点以上であること。 ② 所属学科において、副専攻コースの履修が可能と認められた者。
工 学 部	1年次の成績が、上限単位数の7割以上を修得し、平均点が80点以上であること。
農 学 部	(平成28年度以降入学生) 以下の3点を全て満たすこと。 ① 1年次終了時まで教養教育科目のうち知的理解(現代と生命)及び知的理解(現代と自然)の区分から3単位以上、言語(英語)を2単位以上修得していること。 ② 1年次終了時までの専門基礎科目を20単位以上修得していること。 ③ 1年次終了時まで修得した科目の平均点が80点以上であること。
マッチングプログラムコース	単位修得状況が良好、成績優秀で副専攻コースの履修が可能と認められた者。ただし、英語コース、ドイツ語コース、及びフランス語コース以外のコースの履修はできません。
グローバル・ディスカバリー・プログラム	1年次第2学期までに30単位以上修得し、修得した科目の平均点が80点以上である者で、日本語による講義を受講するための日本語能力を有する者。 なお、必要とされる日本語能力は希望するコースにより異なります。(日本語能力試験等の成績の提出を課すことがあります。)

●修了できなかった場合・履修を許可されなかった場合の単位の取扱い

学 部	単 位 の 取 扱 い
文 学 部	文学部の卒業資格単位（文学部履修細則第3条）に該当するものは卒業資格単位として算入する。それ以外については卒業資格単位に算入しない。
教育学部	教育学部の卒業要件（教育学部規程第16条に定める別表第8及び第17条に定める別表第9）に該当するものは卒業要件単位として算入する。それ以外については卒業要件に算入しない。
法学部 昼間コース	法学部の卒業資格単位（法学部規程）に該当するものは卒業資格単位として算入する。それ以外については卒業資格単位に算入しない。
経済学部 昼間コース 夜間主コース	経済学部の卒業要件（経済学部履修細則【昼間コース】第10条【夜間主コース】第10条）に該当するものは卒業要件単位として算入する。それ以外については卒業要件に算入しない。
理 学 部	理学部の卒業要件（理学部規程）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。ただし、2年次第2学期終了時までには修得した科目は、卒業要件に算入する。
工 学 部	工学部の卒業要件（工学部規程）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。
農 学 部	農学部の卒業要件（農学部規程）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件単位に算入しない。
マッチングプログラム コース	マッチングプログラムコースの卒業要件（マッチングプログラムコース規則）に該当する教養教育科目は、卒業要件単位として算入する。 専門教育科目については、卒業要件に算入しない。
グローバル・ディス カバリー・プログラ ム	グローバル・ディスカバリー・プログラムの卒業要件（グローバル・ディスカバリー・プログラム履修細則第3条に定める別表第1及び別表第2）に該当するものは卒業要件として算入する。それ以外については卒業要件に算入しない。

●各コースの履修方法等

英語コース（夜間主コース学生を除く 平成28年度～29年度入学者適用）

英語コースにおける科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要				
必修科目	教養教育科目	英語コミュニケーション1-1	0.5	6	1年次	外部検定試験による単位認定を受けた「英語コミュニケーション」は、副専攻コース（英語コース）においても修了要件に含める。				
		英語コミュニケーション1-2	0.5							
		英語コミュニケーション2-1	0.5							
		英語コミュニケーション2-2	0.5							
		英語コミュニケーション3-1	0.5							
		英語コミュニケーション3-2	0.5							
		英語コミュニケーション4-1	0.5		2年次					
		英語コミュニケーション4-2	0.5							
		英語コミュニケーション5-1	0.5							
		英語コミュニケーション5-2	0.5							
		英語コミュニケーション6-1	0.5							
		英語コミュニケーション6-2	0.5							
		小計						16		
		選択科目	専門基礎科目		セミナーA		1	4	3年次～4年次	選択科目の履修時には必修科目16単位を修得していることが望ましい。
セミナーB	1									
セミナーC	1									
セミナーD	1									
リサーチ・プロジェクトA	1			4	3年次～4年次					
リサーチ・プロジェクトB	1									
リサーチ・プロジェクトC	1									
リサーチ・プロジェクトD	1									
小計				8						
合計				24						

履修に際しては、下記の注意事項及び次ページ以降をよく確認すること。

注)

【必修科目（教養教育科目）】

- 必修科目は、「英語コミュニケーション1-1～6-2」及び「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の科目名で開講される科目となります。（9ページ確認）
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の履修要件は、次のとおりです。
 - ◎「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」：TOEICスコア400点以上495点以下
 - ◎「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」：TOEICスコア500点以上（検定対策クラスを除く。）
TOEICスコア600点以上
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、TOEICスコアシートを提示して、担当教員から許可を得てください。
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」、「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」は、高い質と教育効果を確保するために人数制限をすることがあります。
- 「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。
- 外部検定試験による単位認定を受けた「英語コミュニケーション」は、副専攻コース（英語コース）においても修了要件に含めます。

【選択科目（専門基礎科目）】

- 選択科目は、「英語特別演習1-1、英語特別演習1-2」、「英語特別演習2-1、英語特別演習2-2」の科目名で開講されます。（9ページ以降確認）
- 選択科目の履修時には、必修科目16単位を修得していることが望ましい。
- 選択科目の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、担当教員から許可を得てください。
- 選択科目は、一対一で指導を行う時間を多く取り入れ、少人数制をとります。

【履修の許可審査】

英語コースの履修申請者が、定員（1学年40名）を超えるときは、面接試験を課すことがあります。

※経済学部夜間主コースの平成29年度入学者は、次ページを確認してください。

英語コース（夜間主コース学生のみ 平成29年度入学者適用）

コース概要：						
効果的な英語コミュニケーション・スキルを構築する。コース修了時には、研究活動や仕事の実践的な場で使える英語運用能力を習得することを目指す。						
英語コースにおける科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要	
必修科目	教養教育科目	スピーキングと討論	0.5または1または2	4	1年次～4年次	必修科目は、各授業科目から4単位ずつ履修すること。
		リスニングとスピーキング	0.5または1または2	4		
		リーディングと討論	0.5または1または2	4		
		ライティングと討論	0.5または1または2	4		
選択科目	専門基礎科目	セミナーA	1または2	4	3年次～4年次	同一科目の繰り返し履修可。 選択科目の履修時には必修科目16単位を修得していることが望ましい。
		セミナーB	1または2			
		セミナーC	1または2			
		セミナーD	1または2			
		リサーチ・プロジェクトA	1または2	4	3年次～4年次	
		リサーチ・プロジェクトB	1または2			
		リサーチ・プロジェクトC	1または2			
		リサーチ・プロジェクトD	1または2			
合計			24			

履修に際しては、下記の注意事項及び次ページ以降をよく確認すること。

注)

【必修科目（教養教育科目）】

- 必修科目は、「プレ上級英語、プレ上級英語－1、プレ上級英語－2」・「上級英語、上級英語－1、上級英語－2」の科目名で開講されます。（次ページ以降確認）
- 「プレ上級英語、プレ上級英語－1、プレ上級英語－2」・「上級英語、上級英語－1、上級英語－2」の履修要件は、次のとおりです。
 - ◎「プレ上級英語、プレ上級英語－1、プレ上級英語－2」：TOEICスコア400点以上495点以下
 - ◎「上級英語、上級英語－1、上級英語－2」：TOEICスコア500点以上（検定対策クラスを除く。）
：TOEICスコア600点以上

- 必修科目の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、TOEICスコアシートを提示して、担当教員から許可を得てください。
- 必修科目は、高い質と教育効果を確保するために人数制限をすることがあります。
- 「プレ上級英語」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。

【選択科目（専門基礎科目）】

- 選択科目は、「英語特別演習1－1、英語特別演習1－2」・「英語特別演習2－1、英語特別演習2－2」の科目名で開講されます。（次ページ以降確認）
- 選択科目の履修時には、必修科目16単位を修得していることが望ましい。
- 選択科目の履修希望者は、必ず最初の授業に出席し、担当教員から許可を得てください。
- 選択科目は、一対一で指導を行う時間を多く取り入れ、少人数制をとります。

【履修の許可審査】

英語コースの履修申請者が、定員（1学年40名）を超えるときは、面接試験を課すことがあります。

平成30年度 副専攻コース対象英語科目と講義番号

(平成28年度～29年度入学者用) 夜間主コース学生も含む

注)「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位までの算入となりますので、履修登録時には、注意してください。

科目区分	科目名	単位	講義番号 期別・曜日・時限	英語コースの授業科目名		
教養 教育 科目	プレ上級英語	1	914004 第2 金・5&6	Speaking and discussion (スピーキングと討論)		
		1	914006 第4 木・3&4			
	上級英語 上級英語-1 上級英語-2	0.5	914149		第1 月・7	
		0.5	914157		第1 木・7	
		0.5	914194		第2 月・7	
		0.5	914202		第2 木・7	
		0.5	914164		第3 月・7	
		0.5	914170		第3 火・7	
		0.5	914172		第3 木・7	
		0.5	914208		第4 月・7	
		0.5	914213		第4 火・7	
		0.5	914215		第4 木・7	
		1	914107		第1 金・7&8	
		1	914122		第2 火・5&6	
		1	914129		第2 金・5&6	
		1	914174		第3 木・1&2	
	1	914139	第3 金・7&8			
	1	914217	第4 木・1&2			
	上級英語 上級英語-1 上級英語-2	0.5	914150		第1 月・7	Listening with speaking (リスニングとスピーキング)
		0.5	914161		第1 金・7	
0.5		914195	第2 月・7			
0.5		914206	第2 金・7			
0.5		914190	第3 金・7			
0.5		914232	第4 金・7			
1		914118	第2 火・1&2			
1		914127	第2 金・3&4			
1		914178	第3 木・3&4			
1		914184	第3 木・5&6			
1		914221	第4 木・3&4			
1		914227	第4 木・5&6			
プレ上級英語	1	914001	第2 火・3&4	Reading with discussion (リーディングと討論)		
	1	914008	第3 木・5&6			
	1	914011	第4 木・5&6			
上級英語 上級英語-1 上級英語-2	0.5	914153	第1 火・7	Reading with discussion (リーディングと討論)		
	0.5	914158	第1 金・7			
	0.5	914198	第2 火・7			
	0.5	914203	第2 金・7			
	0.5	914187	第3 金・7			
	0.5	914229	第4 金・7			
	1	914125	第2 金・1&2			
1	914180	第3 木・3&4				
1	914223	第4 木・3&4				
プレ上級英語	1	914003	第2 金・3&4	Writing with discussion (ライティングと討論)		
上級英語 上級英語-2	0.5	914156	第1 木・7			
	0.5	914197	第2 火・7			
	0.5	914201	第2 木・7			
	1	914120	第2 火・3&4			
	1	914185	第3 木・5&6			
1	914228	第4 木・5&6				
専門 基	英語特別	1	914301 第1 火・7&8	SeminarA(セミナーA)		
	演習1-1	1	914303 第2 火・7&8	SeminarB(セミナーB)		
	英語特別	1	914302 第3 火・7&8			

基礎科目	演習1-2	1	914304	第4	火・7&8	
	英語特別 演習2-1	1	914305	第1	火・7&8	Research projectA (リサーチ・プロジェクトA)
		1	914308	第2	火・7&8	
	英語特別 演習2-2	1	914306	第3	月・7&8	Research projectB (リサーチ・プロジェクトB)
		1	914309	第4	月・7&8	
		1	914307	第3	木・3&4	Research projectC (リサーチ・プロジェクトC)
		1	914310	第4	木・3&4	

*上記授業の中には、第1・2学期、第3・4学期で授業内容が継続しているものと、各学期で授業内容が完結しているものがあります。詳しくはシラバスの「備考・履修上の注意」欄を参照してください。

英語コースの履修モデル 平成29年度入学者（夜間主コース学生を除く）の場合

平成29年度	「英語コミュニケーション1・2・3」 副専攻対象「プレ上級英語，プレ上級英語-1，プレ上級英語-2」 「上級英語，上級英語-1，上級英語-2」	3単位修得 6単位修得
平成30年度	「英語コミュニケーション4・5・6」 副専攻対象「上級英語，上級英語-1，上級英語-2」	3単位修得 4単位修得
平成31年度	「セミナーA・B・C・D」 「リサーチ・プロジェクトA・B・C・D」	4単位修得 4単位修得

注)「プレ上級英語，プレ上級英語-1，プレ上級英語-2」は、副専攻コースの修了要件単位として、最大4単位まで算入できます。

副専攻対象英語科目の授業概要

「スピーキングと討論」

学生は、(1)与えられたトピックについて、アイデアをまとめ、自分の意見を発表し、(2)明瞭で洗練された表現で、自分の意見を発展させ、(3)実際の対話の感覚を身につけるとともにスピーキングと討論のスキルを習得することを目指します。

Speaking and discussion

Students will: (1) organize ideas and express themselves on a given topic; (2) learn to develop their own opinions by speaking clearly and smoothly; (3) acquire speaking and discussion skills with a good sense of how social interactions take place.

「リスニングとスピーキング」

様々なリスニング教材の、多様な内容と場面での理解力向上のためのスキルの習得を目指します。たとえば、話される言葉を予測したり、キーワードを探したり、イントネーションや発音により注意を払ったりできるようになります。英会話における良い聞き手になる方法も学びます。

Listening with speaking

Students will learn various skills to improve their ability to understand different types of listening materials. These skills include actions to take before, during, and after listening: for example, predicting language, listening for key words, and increasing awareness of intonation and pronunciation. Students will also learn how to be better listening partners with others in English.

「リーディングと討論」

易しい英語で書かれたテキストをたくさん読みます。学生は、(1)様々な種類のテキストを容易く自信をもって読めること、(2)各自のレベルに応じたテキストを多読することにより、すらすらと英文が読めること、(3)読解力向上のために用いられる様々なスキルや方法を意識すること、(4)活発に討論に参加することにより、文献の理解を深めその内容を発表する力を身につけることを目指します。

Reading with discussion

Students will learn to: (1) read various kinds of English language texts with greater ease and confidence; (2) build reading fluency by extensively reading texts adapted to the level of the students; (3) gain an awareness of various skills and strategies used to improve reading comprehension; and (4) express and develop their understanding of the texts they have read by actively participating in discussions with other students and the teacher.

「ライティングと討論」

異なるジャンルのライティング能力向上を目指します。学生は、まずこれらのジャンルについて学習し、次に各ジャンルにおけるライティング・ストラテジーを学びます。学生はまた、他の学生とのディスカッションを通して、各自のライティングを修正・校訂します。

Writing with discussion

Students will improve their writing skills by writing in a variety of genre. In class students will learn about these genres and various writing strategies. They will also participate in discussions with other students and help them to revise and edit their work.

「セミナーA」と「セミナーB」

すべて英語で行われる演習です。セミナーは、日本社会の諸相、グローバル化、テクノロジー、ビジネス、環境問題など幅広いトピックを扱います。現代の日本や世界が抱える問題について、理解を深め、議論する能力を向上させるのに役立つでしょう。

Seminar A & B

Students in this course will be provided with the opportunity to select and discuss topics based on a wide range of issues including: aspects of Japanese society, globalization, technology, business, and environmental issues. This course will help students to improve their understanding of, and ability to discuss, a number of current issues related to Japan and the world.

「リサーチ・プロジェクトA」と「リサーチ・プロジェクトB」

すべて英語で行われる演習です。各学生は主専攻を基にリサーチ・トピックを選びます。グループ討論をし、主要学術文献を読み、リサーチ・ペーパーを書き、プレゼンテーションを行います。コミュニケーションのための4技能の訓練を行い、学術研究を体験し、各自の専門分野に関連する英語の専門的な語彙の習得を目指します。

Research project A & B

Each student will choose research topics based on their own major. In the class students will take part in group discussions, read key academic texts, write about their research, and make presentations all in English. Students will practice the four main skills of communication, gain experience of working in a research environment, and learn specific English vocabulary connected to their major.

英語コースQ & A

Q： 新入生です。英語コースを履修したいのですが、1年生ではどの科目を履修したらよいですか。

A： 必修科目「英語コミュニケーション1-1～英語コミュニケーション3-2」に加えて、9・10ページ記載の「副専攻コース対象英語科目と講義番号」が、該当する科目ですので、講義番号からシラバスを検索して、科目を選択してください。

Q： 初回の授業に出席すればよいですか。

A： はい。

希望する科目の初回の曜日時限に、開講教室に出席して、担当教員へ「英語コース」を希望している旨を伝えてください。

なお、TOEICスコアシートを入手次第速やかに担当教員に提示してください。

Q： 希望していることを伝えれば、「英語コース」の履修が認められたことになるのでしょうか。

A： いいえ。

この科目には、英語コース履修を希望しない学生も含まれており、本コースを希望する学生数を把握したためにお聞きするものです。また、希望者が多い場合は履修できないことがあります。

正規の履修の申請手続きは、2年次の7月に所属学部申請して、コースの履修許可を受けます。

許可された場合には、それまでに修得した単位が、本コース科目として修了要件単位に算入されます。

Q： 希望していることを伝えなかったら、「英語コース」の申請はできないことになりますか。

A： いいえ、できます。

2年次7月のコース履修申請はできます。許可されれば、単位修得した該当の「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」・「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」は本コース科目として修了要件単位に算入されます。

Q： この申請に際して、試験などが課されるのでしょうか。

A： 申請した所属学部から、適格者として基幹教育センターに履修を依頼された場合に、その合計が定員（1学年40名）を超えるときは、本センターで面接試験を課することがあります。

Q： 2年次の7月に「英語コース」の申請を辞めた場合または、申請したが許可されなかった場合には、それまでに修得した単位はどうなりますか。

A： 教養教育科目「英語コミュニケーション1-1～6-2」は同じ科目名で、また、（スピーキングと討論～ライティングと討論）は、「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」・「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」として卒業要件の単位として算入されます。ただし、「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」・「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」が算入されない学部もありますので、所属学部の学生便覧等で確認してください。

Q： 2年次の第3学期以降に「英語コース」の修了要件単位を修得できなかった場合には、それまでに修得した単位はどうなりますか。

A： 教養教育科目（英語コミュニケーション1-1～6-2、スピーキングと討論～ライティングと討論）は、前述のとおりですが、専門基礎科目（セミナーA、B、C、D、リサーチ・プロジェクトA、B、C、D.）は、卒業要件の単位としての扱いが学部により異なりますので、所属学部の学生便覧等で確認してください。

Q： 修了試験はありますか。

A： ありません。

「英語コース」の修了要件の科目を単位修得すればコース修了となります。

Q： 副専攻「英語コース」を修了した場合、副専攻対象「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」・「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の修得単位は卒業要件の教養教育科目「プレ上級英語、プレ上級英語-1、プレ上級英語-2」・「上級英語、上級英語-1、上級英語-2」の修得単位として算入されますか。

A： 算入されるかどうかは、学部により異なりますので所属学部の学生便覧でよく確認してください。

日本語教育コース（平成28年度～29年度入学者に適用）

コース概要：						
日本語及び日本語教育に関する知識と実践能力を獲得し、外国人に日本語を教えられる教師養成を目指します。						
科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		
				年次	期	
※1 必修 科目	専門科目	日本語教材研究1	1	8	2年次	第3学期
		日本語教材研究2	1		2年次	第4学期
		日本語学概論1 ※2	1		3年次	第1学期
		日本語学概論2 ※2	1		3年次	第2学期
		日本語教授法概論	1		2年次	第2学期
		日本語指導法1 ※2	1		3年次	第1学期
		日本語指導法2 ※2	1		3年次	第2学期
		日本語教育演習1 ※3 ※6	1		3年次	第3学期/第4学期
選 択 必 修 科 目		日本語教育とマルチメディア	1	4	1～4年次	第1学期
		異文化の中の心理と支援	1			第3学期
		言語と社会	1			第1学期
		第二言語習得論	1			第2学期
		日本語教育演習2 ※3	1			第4学期
		日本語研究と教材作成	1			H30年開講なし
※4 選 択 科 目	教養教育科目	「日本語教育能力検定試験」の関連科目から選択	10	1～4年次	全学期	
		教養教育科目として開設する全ての外国語科目から ※5	2	1～2年次	全学期	
合 計			24			

注)

- 必修・選択必修科目は、日本語教育についての専門的な知識獲得及び技能の養成のための科目です。
- 「日本語教材研究1,2」を既に履修した者のみが、表中※2の科目を履修することができます。
- 「日本語指導法1,2」を既に履修した者のみが、表中※3の科目を履修することができます。
- 選択科目は、日本語教育について幅広い知識を得るための科目です。外国語科目以外の科目名は、23ページを参照してください。
- 選択科目の外国語科目については、本コースの履修の許可を審査する際、履修申請者からの既修得科目の当該科目への認定申請に基づき、本コースにおいて修得した科目として認定します。
- 「日本語教育演習1」は2単位まで重複履修が可能ですが、コースの修了要件としては1単位までしか認めません。

☆ 必修科目・選択必修科目の科目名に「2」がつく科目を履修する時には、同じ科目名に「1」がつく科目を既に修得していることが望ましい。

日本語教育コースの履修モデル（平成29年度入学者の場合）

平成29年度	選択必修科目・選択科目履修	8単位取得
平成30年度	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修（日本語教材研究1,2、日本語教授法概論）	4単位取得 3単位取得
平成31年度 (2019年度)	選択必修科目・選択科目履修 必修科目履修（日本語学概論1,2、日本語指導法1,2、 日本語教育演習1）	4単位取得 5単位取得

平成30年度副専攻日本語教育コース対象科目

科目区分	授業科目	単位	講義番号 期別・曜日・時限
選択科目	日本ビジネスコミュニケーション	1	912423 1・月・5, 6
	日本の農業と農村社会	1	911129 1・月・7, 8
	日本史を見る眼	1	911040 1・火・1, 2
	王朝物語の世界4	1	911006 1・火・3, 4
	国際社会学：多様性を理解する	1	911171 1・火金・4
	万人のための教育-日本と世界	1	911126 1・火・7, 8
	※茶の湯にみる日本文化1：日本の美と文化史	1	911141 1・木・5, 6
	実践型教育/学習概論1	1	912062 1・木・7, 8
	日本語史の諸問題	1	911016 1・金・1, 2
	※国語教科書を読む	1	911023 1・金・3, 4
	留学生と学ぶ日本伝統文化	1	912065 第1学期集中
	※子どもの歴史の学び方	1	911001 2・月・3, 4
	日本語の音声	1	911018 2・月・3, 4
	祭・芸能・音楽からみた世界	1	911003 2・月・5, 6
	日本食と文化1	1	911143 2・月・7, 8
	交流による子どもの成長支援 I I	1	918010 2・月・7, 8
	王朝物語の世界5	1	911007 2・火・3, 4
	アニメ：ジブリアニメから学ぶ日本	1	911094 2・火・3, 4
	ことばの世界	1	911025 2・火・5, 6
	※アジアを知る	1	911026 2・木・1, 2
	日本語史への誘い	1	911017 2・木・3, 4
	琉球の言語と文化	1	911022 2・木・3, 4
	映像でみる20世紀の日本と世界1	1	911042 2・木・3, 4
	茶の湯にみる日本文化2：作法と精神	1	911140 2・木・5, 6
	実践型教育/学習概論2	1	912063 2・木・7, 8
	※キャリアデザインI コミュニケーション力に磨きをかける	1	912401 2・金・3, 4
	※教養としての日本文学	1	911008 2・金・5, 6
	小中学生の協同教育のための教材開発	1	912006 2・金・7, 8
	留学生支援ボランティア実習	【注】2参照	912501 2・不定期・-
	語学研修・サマーコース	【注】2参照	911134 夏季集中
	※アジアを知る	1	911027 3・火・1, 2
	異文化組織で働く	1	911127 3・火・5, 6
	日本の文化遺産（中国、四国、九州）	1	911145 3・火・7, 8
	映像でみる20世紀の日本と世界2	1	911043 3・木・3, 4
	文化人類学への招待	1	911054 3・木・3, 4
	日本のポップカルチャー紹介	1	911095 3・木・3, 4
	ひとのことばの起源と進化	1	911021 3・木・5, 6
	文系レポート・論文の読み書き作法	1	911104 3・木・5, 6
	※茶の湯にみる日本文化1：日本の美と文化史	1	911139 3・木・5, 6
	グローバル化の社会学1	1	911159 3・木・5, 6
	東アジア都市史ー日本、中国、韓国	1	911153 3・木・7, 8
	創造的討論技術を学ぶ スペシャル	1	912022 3・木・7, 8
	心理学入門	1	911052 3・金・1, 2
	言葉と創作	1	911101 3・金・3, 4
	※教養としての日本文学	1	911009 3・金・5, 6
	日本人の戦争観	1	911041 4・月・3, 4
	国際協力とプロジェクト管理	1	911136 4・月・7, 8
	交流による子どもの成長支援 I	1	912004 4・月・7, 8
	※アジアを知る	1	911028 4・火・1, 2
	Cross-Cultural Experiences	1	911167 4・火金・4
※国語教科書を読む	1	911024 4・火・5, 6	
日本の文化遺産（関西、中部、関東）	1	911144 4・火・7, 8	
映像でみる20世紀の日本と世界ー戦後復興から高度成長期までー	1	911044 4・木・3, 4	
※キャリアデザインI コミュニケーション力に磨きをかける	1	912404 4・木・3, 4	
※子どもの歴史の学び方	1	911002 4・木・5, 6	
日本語の語彙と文法	1	911019 4・木・5, 6	
日本からみる太平洋諸島地域	1	911154 4・木・5, 6	

	グローバル化の社会学2	1	911160	4・木・5, 6
	東アジア都市史ー台湾、香港、ベトナム、フィリピン	1	911152	4・木・7, 8
	創造的討論技術を学ぶ デラックス	1	912023	4・木・7, 8
	留学生支援ボランティア実習	【注】2参照	912502	4・不定期・-
	語学研修・スプリングコース	【注】2参照	911135	春季集中
	国際インターンシップ	【注】3参照	912032	特別
	国際インターンシップ	【注】3参照	912033	特別

必修科目	日本語指導法1	1	911111	1・火・5, 6
	日本語学概論1	1	911108	1・金・3, 4
	日本語指導法2	1	911112	2・火・5, 6
	日本語教授法概論	1	911110	2・火・5, 6
	日本語学概論2	1	911109	2・金・3, 4
	日本語教材研究1	1	911117	3・金・3, 4
	日本語教育演習1	1	911114	3・火・5, 6
	日本語教育演習1	1	911115	4・火・1, 2
	日本語教材研究2	1	911118	4・金・3, 4
選択必修科目	日本語教育とマルチメディア	1	911113	1・火・3, 4
	異文化の中の心理と支援	1	911105	3・火・3, 4
	言語と社会	1	911106	1・火・5, 6
	第二言語習得論	1	911107	2・火・3, 4
	日本語教育演習2	1	911116	4・火・3, 4

注)

- 各授業科目の内容については、教養教育科目のシラバスで確認してください。
科目によっては、受講要件がありますので、特にご留意ください。
- 複数の期別・曜日・時限に開講される科目であっても、同一名の授業科目は、重複して履修することができません（表中の※印の科目）。
ただし、「留学生支援ボランティア実習」（平成28年度以降開講）は、重複して履修することができます。
副専攻コースの修了要件単位として、合計で最大2単位まで算入できます。
また、「語学研修・スプリングコース」「語学研修・サマーコース」（平成29年度以降開講）も、重複して履修することができます。副専攻コースの修了要件単位として、各科目それぞれ合計で最大2単位まで算入できます。
- 「国際インターンシップ」は重複履修可能な科目ですが、副専攻コースの修了要件としては1科目しか認められません。
- 対象科目は上記に掲げているものに限りません。同一の授業科目名であっても、期別・曜日・時限が異なるものは対象となりません。

ドイツ語コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

ドイツ語を話し・聞く力，読む力，書く力それぞれについて特化された授業が用意されている。各受講者は、それぞれの目標にあわせて履修内容を組み立てることができる。バラエティに富む授業を履修することによって、ドイツ語運用能力の向上が可能となる。

科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要
必修科目	教養教育 科目	ドイツ語初級Ⅰ-1（文法）	1	8	1年	○ 以下の科目は必ずセット で受講すること。 また、必ず初級Ⅰ-1→ Ⅰ-2→Ⅱ-1→Ⅱ-2 の順で履修すること。 〔ドイツ語初級Ⅰ-1（文法） ドイツ語初級Ⅰ-2（文法） ドイツ語初級Ⅰ-1（読本） ドイツ語初級Ⅰ-2（読本） ドイツ語初級Ⅱ-1（文法） ドイツ語初級Ⅱ-2（文法） ドイツ語初級Ⅱ-1（読本） ドイツ語初級Ⅱ-2（読本） ○ ドイツ語初級Ⅰ，Ⅱ （文法／読本）は、ドイツ 語初級Ⅰ，Ⅱ（総合）の 修得単位をもって、本 コースの修了要件単位と することも可能。 ○ ドイツ語中級は、2単位 まで、本コースの修了要件 単位に算入する。
		ドイツ語初級Ⅰ-2（文法）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅰ-1（読本）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅰ-2（読本）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ-1（文法）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ-2（文法）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ-1（読本）	1		1年	
		ドイツ語初級Ⅱ-2（読本）	1		1年	
選択科目	専門科目	ドイツ語コミュニケーション1 a	1	0~4	1年	〔ドイツ語初級Ⅱ-1（文法） ドイツ語初級Ⅱ-2（文法） ドイツ語初級Ⅱ-1（読本） ドイツ語初級Ⅱ-2（読本） ○ ドイツ語初級Ⅰ，Ⅱ （文法／読本）は、ドイツ 語初級Ⅰ，Ⅱ（総合）の 修得単位をもって、本 コースの修了要件単位と することも可能。 ○ ドイツ語中級は、2単位 まで、本コースの修了要件 単位に算入する。
		ドイツ語コミュニケーション1 b	1		1年	
		ドイツ語コミュニケーション2 a	1		1年	
		ドイツ語コミュニケーション2 b	1		1年	
	教養教育 科目	ドイツ語中級	1	8~10	2年	
	専門科目	ドイツ語読解法 a	1		2年	
		ドイツ語読解法 b	1		2年	
		時事ドイツ語 a	1		2年	
		時事ドイツ語 b	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション3 a	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション3 b	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション4 a	1		2年	
		ドイツ語コミュニケーション4 b	1		2年	
		ドイツ語総合演習 1 a	1		2年	
		ドイツ語総合演習 1 b	1		2年	
		ドイツ語総合演習 2 a	1		2年	
		ドイツ語総合演習 2 b	1	2年		
	4~6	ドイツ語上級 a	1	3年		
		ドイツ語上級 b	1	3年		
		ドイツ語翻訳法 a	1	3年		
ドイツ語翻訳法 b		1	3年			
ドイツ語総合演習 3 a		1	3年			
ドイツ語総合演習 3 b		1	3年			
ドイツ語総合演習 4 a		1	3年			
ドイツ語総合演習 4 b		1	3年			
合計			24			

- 注) 1 文学部学生は、このコースは履修できません。文学部外国語習得・留学プログラム科目一覧（ドイツ語）に沿って授業を履修してください。
- 2 履修を希望する場合は、希望科目の初回の授業に出席して、授業担当教員へ「ドイツ語コース」の履修を希望している旨を伝えてください。
- 3 各授業科目の内容については、教養教育科目及び文学部のシラバスで確認してください。
- 4 各授業科目の授業時間帯については、教養教育科目及び文学部の授業時間割で確認してください。

フランス語コース(平成29年度入学者に適用)

コース概要：

受講者のコミュニケーションの道具としてのフランス語運用能力の向上を主眼としたカリキュラムである。フランス語のコミュニケーション能力(話し、聞き、読み、書く力)育成に特化した授業が用意されている。

科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要
必修科目	教養教育科目	フランス語初級Ⅰ-1(総合)	2	2	1年	○ 以下の科目は必ずセットで受講すること。 また、必ず初級Ⅰ-1→Ⅰ-2→Ⅱ-1→Ⅱ-2の順で履修すること。 〔フランス語初級Ⅰ-1(総合) フランス語初級Ⅰ-2(総合) フランス語初級Ⅱ-1(総合) フランス語初級Ⅱ-2(総合)〕
		フランス語初級Ⅰ-2(総合)	2	2	1年	
		フランス語初級Ⅱ-1(総合)	2	2	1年	
		フランス語初級Ⅱ-2(総合)	2	2	1年	
	専門科目	フランス語コミュニケーション1a	1	1	1年	
		フランス語コミュニケーション1b	1	1	1年	
		フランス語コミュニケーション2a	1	1	1年	
		フランス語コミュニケーション2b	1	1	1年	
選択科目	教養教育科目	フランス語中級	1	12	2年	○ フランス語初級Ⅰ、Ⅱ(総合)は、フランス語初級Ⅰ、Ⅱ(文法/読本)の修得単位をもって、本コースの修了要件単位とすることも可能。 ○ 必修科目のフランス語コミュニケーションについては、1a→1b→2a→2bの順で履修する必要がある。
	専門科目	フランス語コミュニケーション3a	1		2年	
		フランス語コミュニケーション3b	1		2年	
		フランス語コミュニケーション4a	1		2年	
		フランス語コミュニケーション4b	1		2年	
		フランス語総合演習1a	1		2年	
		フランス語総合演習1b	1		2年	
		フランス語総合演習2a	1		2年	
		フランス語総合演習2b	1		2年	
		フランス語コミュニケーション5a	1		3年	
		フランス語コミュニケーション5b	1		3年	
		フランス語コミュニケーション6a	1		3年	
		フランス語コミュニケーション6b	1		3年	
		フランス語総合演習3a	1		3年	
		フランス語総合演習3b	1		3年	
		フランス語総合演習4a	1		3年	
フランス語総合演習4b	1	3年				
合計				24		

- 注) 1 文学部学生は、このコースは履修できません。文学部外国語習得・留学プログラム科目一覧(フランス語)に沿って授業を履修してください。
- 2 履修を希望する場合は、希望科目の初回の授業に出席して、授業担当教員へ「フランス語コース」の履修を希望している旨を伝えてください。
- 3 各授業科目の内容については、教養教育科目及び文学部のシラバスで確認してください。
- 4 各授業科目の授業時間帯については、教養教育科目及び文学部の授業時間割で確認してください。

教育科学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

人間形成，主として学校教育における人間形成にかかわる諸問題を教育哲学，教育社会学，教育心理学，発達心理学など，多様な視点から学ぶ。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要
				年次	期	
選択科目	教育学概説A(1)	1	}	2	1年次～	開講予定なし 開講予定なし
	教育学概説A(2)	1			1年次～	
	教育学概説C(1)	1			1年次～	
	教育学概説C(2)	1			1年次～	
	学校教育心理学A I	1	}	2	1年次～	
	学校教育心理学A II	1			1年次～	
	学校教育心理学C I	1			1年次～	
	学校教育心理学C II	1			1年次～	
	教育哲学(1)	1	}	4	2年次～	
	教育哲学(2)	1			2年次～	
	日本教育史(1)	1			2年次～	
	日本教育史(2)	1			2年次～	
	西洋教育史(1)	1			2年次～	
	西洋教育史(2)	1			2年次～	
	教育の制度と社会A I	1	}	6	2年次～	
	教育の制度と社会A II	1			2年次～	
	教育の制度と社会C(1)	1			2年次～	
	教育の制度と社会C(2)	1			2年次～	
	教育社会学 I	1			2年次～	
	教育社会学 II	1			2年次～	
	教育法制論 I	1			2年次～	
	教育法制論 II	1			2年次～	
	生涯学習社会論(1)	1			2年次～	
	生涯学習社会論(2)	1			2年次～	
	国際理解教育概説(1)	1			2年次～	
	国際理解教育概説(2)	1			2年次～	
	教育の方法と技術A(1)	1			2年次～	
	教育の方法と技術A(2)	1			2年次～	
	教育の方法と技術C(1)	1			2年次～	
	教育の方法と技術C(2)	1			2年次～	
	現代教育方法学A(1)	1			2年次～	
	現代教育方法学A(2)	1			2年次～	
	現代教育方法学B(1)	1			2年次～	
	現代教育方法学B(2)	1			2年次～	
	人権・同和教育(1)	1	1年次～			
	人権・同和教育(2)	1	1年次～			
児童心理学 I	1	}	4	1年次～		
児童心理学 II	1			1年次～		
青年心理学 I	1			1年次～		
青年心理学 II	1			1年次～		
学習意欲向上の原理と方法A(1)	1			2年次～		
学習意欲向上の原理と方法A(2)	1			2年次～		
学習意欲向上の原理と方法B(1)	1			2年次～		
学習意欲向上の原理と方法B(2)	1			2年次～		
教育評価・測定(1)	1			2年次～		
教育評価・測定(2)	1			2年次～		
発達障害教育概論A(1)	1	}	6	3年次～		
発達障害教育概論A(2)	1			3年次～		
学習心理学(1)	1			3年次～		
学習心理学(2)	1			3年次～		
生徒指導論 II C(1)	1			2年次～		
生徒指導論 II C(2)	1			2年次～		
人格心理学(1)	1			2年次～		
人格心理学(2)	1			2年次～		
教育相談論A	1			3年次～		
教育相談論B	1			3年次～		

	教育相談論C	1		3年次～	
	教育相談論D	1		3年次～	
	進路指導論(1)	1		3年次～	
	進路指導論(2)	1		3年次～	
	集団心理学(1)	1		2年次～	開講未定
	集団心理学(2)	1		2年次～	開講未定
	教育臨床心理学(1)	1		2年次～	中・高免不可
	教育臨床心理学(2)	1		2年次～	中・高免不可
	合 計		24		

- 注) 1 教育学部学生は、このコースは履修できません。
- 2 科目名に(1)(2)が付く科目は、2科目合わせて履修・単位修得すべき科目で、(1)(2)の順に履修すること。(1)を履修しなければ、(2)は履修できません。
- 3 最初に、必修科目を履修することが望ましい。
- 4 平成28年度入学者について、平成28年度に修得した「学校教育心理学C(1)(1単位)」は「学校教育心理学CⅠ(1単位)」に、「学校教育心理学C(2)(1単位)」は「学校教育心理学CⅡ(1単位)」に読み替えます。

小学校CSTコース（平成29年度入学者に適用）

理学部の学生で、岡山大学CST養成プログラムコースに所属する学生

コース概要：

理数教育において中核的な役割を担う小学校教員（コア・サイエンス・ティーチャー）に必要な「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」を学ぶ。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要
				年次	期	
必修科目	専門科目	初等理科授業研究(1)	1	4	2年次～	
	初等理科授業研究(2)	1	2年次～			
	初等理科内容研究A	1	2年次～			
	初等理科内容研究B	1	2年次～			
	初等教育カリキュラム論A	1	9	2年次～		
	道徳教育論A(1)	1		3年次～		
	道徳教育論A(2)	1		3年次～		
	特別活動論A(1)	1		2年次～		
	特別活動論A(2)	1		2年次～		
	教育の方法と技術A(1)	1		2年次～		
	教育の方法と技術A(2)	1		2年次～		
	生徒指導論AⅠ	1		2年次～		
	生徒指導論AⅡ	1		2年次～		
	選択科目	初等国語科授業研究（書写を含む）(1)		1	6	
初等国語科授業研究（書写を含む）(2)		1	2年次～			
初等社会科授業研究(1)		1	2年次～			
初等社会科授業研究(2)		1	2年次～			
算数科授業研究A(1)		1	2年次～			
算数科授業研究A(2)		1	2年次～			
算数科授業研究B(1)		1	2年次～			
算数科授業研究B(2)		1	2年次～			
生活科授業研究A(1)		1	2年次～			
生活科授業研究A(2)		1	2年次～			
生活科授業研究B(1)		1	2年次～			
生活科授業研究B(2)		1	2年次～			
初等家庭科授業研究A(1)		1	2年次～			
初等家庭科授業研究A(2)		1	2年次～			
初等家庭科授業研究B(1)		1	3年次～			
初等家庭科授業研究B(2)		1	3年次～			
初等音楽科授業研究(1)		1	4	2年次～		
初等音楽科授業研究(2)		1		2年次～		
図画工作科授業研究(1)		1		2年次～		
図画工作科授業研究(2)		1		2年次～		
初等体育科授業研究A		1		2年次～		
初等体育科授業研究B		1		2年次～		
初等理科指導法開発(1)		1	2	3年次～		
初等理科指導法開発(2)		1		3年次～		
初等国語科内容研究Ⅰ（書写を含む）(1)		1		2年次～		
初等国語科内容研究Ⅰ（書写を含む）(2)		1		2年次～		
算数科内容研究(1)	1	2年次～				
算数科内容研究(2)	1	2年次～				
初等社会科内容研究A(1)	1	2年次～				
初等社会科内容研究A(2)	1	2年次～				
初等社会科内容研究B(1)	1	2年次～				
初等社会科内容研究B(2)	1	2年次～				
生活科内容研究A(1)	1	2年次～				
生活科内容研究A(2)	1	2年次～				
生活科内容研究B(1)	1	2年次～				
生活科内容研究B(2)	1	2年次～				
初等音楽科内容研究(1)	1	2年次～				

	初等音楽科内容研究(2)	1)	2年次～	
	図画工作科内容研究(1)	1		2年次～	
	図画工作科内容研究(2)	1		2年次～	
	初等体育科内容研究A	1		2年次～	
	初等体育科内容研究B	1		2年次～	
	初等家庭科内容研究(1)	1		2年次～	
	初等家庭科内容研究(2)	1		2年次～	
合 計			25		

注) 1 副専攻コース小学校CSTコースは、「岡山大学CST養成プログラム」の小学校CST養成コースに選抜された学生を対象として、当該養成コースの教育プログラムのうち、学部において履修する小学校教員に必要な「教職に関する科目」及び「教科に関する科目」を、副専攻コースと位置付けて開設するものです。

したがって、「岡山大学CST養成プログラム」の小学校CST養成コースに所属していない学生の履修はできませんので、注意してください。

2 科目名に(1)(2)が付く科目は、2科目合わせて履修・単位修得すべき科目で、(1)(2)の順に履修すること。(1)を履修しなければ、(2)は履修できません。

現代市民法専攻コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

社会生活を営み職業人として活動する上で必要な視野の広さと法学・政治学的素養を身につけるため、主として民事法・刑事法などを中心に学ぶ。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要	
				年次・期		
選択科目	専攻科目	憲法（総論・統治）a	1	24	2年次第3学期以降	全科目とも、2年次の第3学期以降に履修すること。 なお、履修に際しては、法学部の学生便覧・シラバス・法政基礎演習共通テキストに掲載される専攻科目配当年次一覧と各分野の「学び方」を参照して、そこに示された順番で各科目を履修するようにしてください。
	憲法（総論・統治）b	1				
	憲法（人権）a	1				
	憲法（人権）b	1				
	憲法（人権）c	1				
	行政法総論Ⅰ	1				
	行政法総論Ⅱa	1				
	行政法総論Ⅱb	1				
	労働法a	1				
	労働法b	1				
	労働法c	1				
	民法総則a	1				
	民法総則b	1				
	物権法	1				
	担保物権法	1				
	債権総論a	1				
	債権総論b	1				
	契約法	1				
	不法行為法	1				
	親族法	1				
	相続法	1				
	不動産登記法a	1				
	不動産登記法b	1				
	民事手続法概論	1				
	民事訴訟法a	1				
	民事訴訟法b	1				
	会社法a	1				
	会社法b	1				
	会社法c	1				
	企業取引法a	1				
	企業取引法b	1				
	企業取引法c	1				
	刑法総論a	1				
	刑法総論b	1				
	刑法総論c	1				
	刑法各論a	1				
	刑法各論b	1				
	刑法各論c	1				
	刑事手続法概論	1				
	刑事訴訟法a	1				
刑事訴訟法b	1					
国際取引法	1					
国際家族法a	1					
国際家族法b	1					
アジア法a	1					
アジア法b	1					
中国法	1					
合計			24			

- 注) 1 法学部学生は、このコースは履修できません。
 2 本コースの受入定員は5名です。
 3 科目名は毎年追加・変更の可能性があります。
 4 履修対象科目は、専攻科目のみとします。

公共政策専攻コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

社会生活を営み職業人として活動する上で必要な視野の広さと法学・政治学的素養を身につけるため、主として公法・政治学などを中心に学ぶ。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要	
				年次・期		
選択科目	専門科目	憲法（総論・統治）a	1	24	2年次第3学期以降	全科目とも、2年次の第3学期以降に履修すること。 なお、履修に際しては、法学部の学生便覧・シラバス・法政基礎演習共通テキストに掲載される専門科目配当年次一覧と各分野の「学び方」を参照して、そこに示された順番で各科目を履修するようにしてください。
	憲法（総論・統治）b	1				
	憲法（人権）a	1				
	憲法（人権）b	1				
	憲法（人権）c	1				
	行政法総論Ⅰ	1				
	行政法総論Ⅱa	1				
	行政法総論Ⅱb	1				
	行政救済法Ⅰa	1				
	行政救済法Ⅰb	1				
	行政救済法Ⅱ	1				
	税法a	1				
	税法b	1				
	税法c	1				
	公共政策論	1				
	民法総則a	1				
	民法総則b	1				
	物権法	1				
	国際法総論a	1				
	国際法総論b	1				
	国際法総論c	1				
	国際法各論a	1				
	国際法各論b	1				
	国際法各論c	1				
	国際機構法	1				
	法の歴史と思想	1				
	法と正義a	1				
	法と正義b	1				
	法哲学	1				
	法史学a	1				
	法史学b	1				
	政治社会学	1				
	国際政治論a	1				
	国際政治論b	1				
	政治思想史a	1				
	政治思想史b	1				
比較政治a	1					
比較政治b	1					
政治過程論Ⅰ	1					
政治過程論Ⅱ	1					
行政学a	1					
行政学b	1					
合 計			24			

- 注) 1 法学部学生は、このコースは履修できません。
 2 本コースの受入定員は5名です。
 3 科目名は毎年追加・変更の可能性があります。
 4 履修対象科目は、専門科目のみとします。

数学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

数学の基礎及び応用について体系的に学ぶことにより，論理的思考の下地をつくり，あわせて数理科学への理解を深める。

科目区分	授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履修年次	摘 要	
				年次・期		
必修科目	専門基礎科目	微分積分学Ⅰa	1	12	2年次第3学期以降	全科目とも，2年次第3学期以降に履修すること。 また，履修に際しては理学部学生便覧及びシラバスを参照すること。 先ず，専門基礎科目を修得することが望ましいが，本コース開講学科（数学科）の教務担当委員と相談すること。
		微分積分学Ⅰb	1			
		微分積分学Ⅱa	1			
		微分積分学Ⅱb	1			
		線形代数学Ⅰa	1			
		線形代数学Ⅰb	1			
		線形代数学Ⅱa	1			
		線形代数学Ⅱb	1			
	専門科目	数学演義Ⅰa	1			
		数学演義Ⅰb	1			
		数学演義Ⅱa	1			
		数学演義Ⅱb	1			
		数学演義Ⅲa	1			
		数学演義Ⅲb	1			
選択科目	微分積分学Ⅲa	1	12			
	微分積分学Ⅲb	1				
	微分積分学Ⅲa演習	1				
	微分積分学Ⅲb演習	1				
	代数学基礎Aa	1				
	代数学基礎Ab	1				
	代数学基礎Aa演習	1				
	代数学基礎Ab演習	1				
	代数学基礎Ba	1				
	代数学基礎Bb	1				
	代数学基礎Ba演習	1				
	代数学基礎Bb演習	1				
	幾何学基礎Aa	1				
	幾何学基礎Ab	1				
	幾何学基礎Aa演習	1				
	幾何学基礎Ab演習	1				
	幾何学基礎Ba	1				
	幾何学基礎Bb	1				
	幾何学基礎Ba演習	1				
	幾何学基礎Bb演習	1				
	幾何学Ⅰa	1				
	幾何学Ⅰb	1				
	幾何学演習	3				
	解析学基礎Aa	1				
	解析学基礎Ab	1				
	解析学基礎Ba	1				
	解析学基礎Bb	1				
	解析学基礎a演習	1				
	解析学基礎b演習	1				
	離散数学Ⅰa	1				
離散数学Ⅰb	1					
確率・統計a	1					
確率・統計b	1					
合 計			24			

注) 1 理学部学生は，このコースは履修できません。

2 受講希望者は理学部数学科の教務担当委員と相談すること。

物理学基盤コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

物理学の基本的な原理・法則について学び、自然科学に関わる問題を数学的手法やコンピュータ等を用いて解決する力を身につける。

科目区分	授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履修年次	摘 要	
				年次・期		
必修科目	専門基礎科目	基礎微分積分学Ⅰa	1	12	2年次第3学期以降	全科目とも、2年次第3学期以降に履修すること。 また、履修に際しては理学部学生便覧及びシラバスを参照すること。 先ず、専門基礎科目を修得することが望ましいが、本コース開講学科（物理学科）の教務担当委員と相談すること。
		基礎微分積分学Ⅰb	1			
		基礎微分積分学Ⅱa	1			
		基礎微分積分学Ⅱb	1			
		現代数学要論Ⅰa	1			
		現代数学要論Ⅰb	1			
		現代数学要論Ⅱa	1			
		現代数学要論Ⅱb	1			
		基礎物理学1a	1			
		基礎物理学1b	1			
		基礎物理学2a	1			
		基礎物理学2b	1			
選択科目	専門科目	物理数学A	1	12		
		物理数学B	1			
		物理数学C	1			
		物理数学D	1			
		物理数学E	1			
		物理数学F	1			
		コンピュータ物理学1A	1			
		コンピュータ物理学1B	1			
		コンピュータ物理学2A	1			
		コンピュータ物理学2B	1			
		電磁気学1A	1			
		電磁気学1B	1			
		相対性理論1A	1			
		相対性理論1B	1			
合 計			24			

- 注) 1 理学部学生は、このコースは履修できません。
2 受講希望者は理学部物理学科の教務担当委員と相談すること。

物質科学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

自然科学の基幹分野の一つである化学を理解するために、物質の構造・物性・反応に関する基礎知識を修得する。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘要	
				年次・期		
選択科目	専門基礎科目	基礎物理学1a	1	10	2年次第3学期以降	全科目とも、2年次第3学期以降に履修すること。 また、履修に際しては理学部学生便覧及びシラバスを参照すること。 先ず、専門基礎科目を修得することが望ましいが、本コース開講学科（化学科）の教務担当委員と相談すること。
		基礎物理学1b	1			
		基礎物理学2a	1			
		基礎物理学2b	1			
		一般化学1	1			
		一般化学2	1			
		基礎有機化学1	1			
		基礎有機化学2	1			
		基礎生物学1a	1			
		基礎生物学1b	1			
		基礎生物学2a	1			
		基礎生物学2b	1			
		基礎地球科学1a	1			
		基礎地球科学1b	1			
	基礎地球科学2a	1				
	基礎地球科学2b	1				
	専門科目	有機化学1	1	16		
		有機化学2	1			
		有機化学3	1			
		有機化学4	1			
		有機化学5	1			
		有機化学6	1			
		有機化学7	1			
		有機化学8	1			
		有機化学9	1			
		有機化学10	1			
		有機化学11	1			
有機化学12		1				
有機機器分析1		1				
有機機器分析2	1					
有機合成化学1	1					
有機合成化学2	1					
分析化学1	1					
分析化学2	1					
分析化学3	1					
分析化学4	1					
分析化学5	1					
分析化学6	1					
無機化学1	1					
無機化学2	1					
無機化学3	1					
無機化学4	1					
無機化学5	1					
無機化学6	1					
無機化学7	1					
物理化学1	1					
物理化学2	1					
物理化学3	1					
物理化学4	1					
物理化学5	1					
物理化学6	1					
物理化学7	1					
量子化学1	1					
量子化学2	1					
量子化学3	1					
量子化学4	1					

	量子化学5	1		
	量子化学6	1		
	量子化学7	1		
	錯体化学1	1		
	錯体化学2	1		
	錯体化学3	1		
	錯体化学4	1		
	固体化学1	1		
	固体化学2	1		
	固体化学3	1		
	合 計		26	

- 注) 1 理学部学生は、このコースは履修できません。
 2 受講希望者は理学部化学科の教務担当委員と相談すること。

生物科学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

生命現象の基本原理と多様性について、遺伝子、タンパク質、細胞、組織、個体の各レベルから総合的に学習する。

科目区分		授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘 要
					年次・期	
必修科目	専門科目	分子生物学ⅠA	1	4	2年次第3学期以降	全科目とも、2年次第3学期以降に履修すること。 また、履修に際しては理学部学生便覧及びシラバスを参照し、予め本コース開講学科（生物学科）の教務担当委員と相談すること。
		分子生物学ⅠB	1			
		植物生理学Ⅰ	1			
		植物生理学Ⅱ	1			
選択科目	専門科目	細胞生物学ⅠA	1	20		
		細胞生物学ⅠB	1			
		細胞生物学ⅡA	1			
		細胞生物学ⅡB	1			
		生化学ⅠA	1			
		生化学ⅠB	1			
		生化学ⅡA	1			
		生化学ⅡB	1			
		遺伝学ⅠA	1			
		遺伝学ⅠB	1			
		遺伝学ⅡA	1			
		遺伝学ⅡB	1			
		分子遺伝学ⅠA	1			
		分子遺伝学ⅠB	1			
		分子遺伝学ⅡA	1			
		分子遺伝学ⅡB	1			
		発生生物学ⅠA	1			
		発生生物学ⅠB	1			
		植物細胞生理学Ⅰ	1			
		植物細胞生理学Ⅱ	1			
動物行動学Ⅰ	1					
動物行動学Ⅱ	1					
生体制御学ⅠA	1					
生体制御学ⅠB	1					
神経生物学ⅠA	1					
神経生物学ⅠB	1					
合 計				24		

- 注) 1 理学部学生は、このコースは履修できません。
2 受講希望者は履修計画について理学部生物学科の教務担当委員と相談すること。

地球科学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

人類の生活基盤である、かけがえのない「地球」について、多様な時間スケール・空間スケールの概念をもって、総合的な理解を深める。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次	摘 要						
				年次・期							
必修科目	専門基礎科目	基礎地球科学1a	1	4	2年次第3学期以降	全科目とも、2年次第3学期以降に履修すること。 また、履修に際しては理学部学生便覧及びシラバスを参照すること。					
		基礎地球科学1b	1								
		基礎地球科学2a	1								
		基礎地球科学2b	1								
選択科目		基礎物理学1a	1	4		先ず、専門基礎科目を修得することが望ましいが、本コース開講学科（地球科学科）の教務担当委員と相談すること。					
		基礎物理学1b	1								
		基礎物理学2a	1								
		基礎物理学2b	1								
		一般化学1	1								
		一般化学2	1								
		基礎有機化学1	1								
		基礎有機化学2	1								
		基礎生物学1a	1								
		基礎生物学1b	1								
		基礎生物学2a	1								
		基礎生物学2b	1								
		専門科目					鉱物結晶学1	1	16		
							鉱物結晶学2	1			
地史学	1										
地層学	1										
地形学概説	1										
造岩鉱物学	1										
基礎岩石学	1										
火成岩成因論	1										
変成岩成因論	1										
地球物質反応論1	1										
地球物質反応論2	1										
構造地質学	1										
応用地質学	1										
変動地形学	1										
地震危険度評価論	1										
地球統計学	1										
固体地球物理学	1										
地球連続体力学1	1										
地球連続体力学2	1										
宇宙と地球の化学1	1										
宇宙と地球の化学2	1										
地球惑星化学1	1										
地球惑星化学2	1										
地球惑星化学3	1										
地球惑星化学4	1										
大気科学1	1										
大気科学2	1										
大気科学3	1										
大気科学4	1										
大気科学5	1										
大気科学6	1										
大気科学7	1										
大気科学8	1										
大気科学9	1										
大気科学10	1										
大気科学11	1										
大気科学12	1										
地球形成論	1										
地球物理のための数学1	1										
地球物理のための数学2	1										
地震学1	1										
地震学2	1										
地球惑星内部構造論1	1										
地球惑星内部構造論2	1										
微量元素地球化学	1										
同位体年代学	1										
合 計			24								

- 注) 1 理学部学生は、このコースは履修できません。
2 受講希望者は理学部地球科学科の教務担当委員と相談すること。

国際保健コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

国際的視野で健康と環境の相互関係を学び、国際保健が果たす役割と国際協力の在り方を学習する。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要		
				年次	期			
必修科目	専門基礎科目	保健科学入門	1	10	3年次	第1学期	全科目とも、2年次の第3学期以降に履修すること。 先ず、専門基礎科目を履修しておくことが望ましい。	
		ヘルスプロモーション入門	1		2年次	第3学期		
		国際保健システム論	2		4年次	冬季集中		
		国際環境・衛生論	2		3年次	第3学期		
		地域保健環境論	2		3年次	第3学期		
		保健統計学	2		3年次	第4学期		
選択科目		栄養・代謝学	2	A	3年次	第2学期		
		形態・機能学 I	2		3年次	第1学期		
		感染免疫学	2		3年次	第3学期		
		基礎遺伝子学	2		2年次	第3・4学期		
		基礎病態学	2		2年次	第3・4学期		
		臨床薬理学	2		3年次	第2学期		
		保健行政論	2	B	3年次	夏季集中		
		社会福祉論	2		3年次	第3・4学期		
	専門科目		医療経済学	2	C	4年次		第3学期
			災害危機管理論	2		4年次		夏季集中
			ボランティア実践	2		4年次		第3・4学期
救命救急医療			2	4年次		第3学期		
合計			24	AとBとCを合わせて、14単位を修得のこと。組み合わせは自由です。				

放射線安全管理・応用学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

放射線及び放射性同位元素の利用は、がんの治療、医療用具の滅菌、工業製品の透過検査、厚さの測定、物質の定性・定量、あるいはトレーサ実験等々多岐にわたっている。しかし、放射性同位元素及び放射線発生装置は、その取扱によっては、放射線障害を発生する恐れがある。そこで、放射線障害防止法に基づき、放射性同位元素あるいは放射線発生装置を取扱う場合の、放射線障害の防止に関する事項について学習し、第一種及び第二種放射線取扱主任者試験合格レベルの知識の習得を目指す。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要	
				年次	期		
必修	専門基礎科目	保健行政論	2	2	4年次	第4学期	
修 科 目	専門科目	放射線物理学Ⅰ	1	10	3年次	第2学期	物理学的な基礎を必要とします。
		放射線物理学Ⅱ	1		3年次	第3学期	
		放射線物理学Ⅲ	1		3年次	第4学期	
		放射線計測学	1		3年次	第2学期	
		放射線治療物理学	1		4年次	第2学期	
		放射化学Ⅰ	1		3年次	第1学期	
		放射化学Ⅱ	1		4年次	第3学期	
		放射線生物学	1		4年次	第2学期	
		放射線安全管理学	1		2年次	第4学期	
		放射線衛生学	1		3年次	第1学期	
選 択 科 目	専門基礎科目	形態・機能学Ⅰ	2	12	3年次	第1学期	
		形態・機能学Ⅱ	1		3年次	第2学期	
		情報数理学Ⅰ	2		4年次	第1学期	
	専門科目	放射線機器工学Ⅰ	1		2年次	第3学期	
		放射線機器工学Ⅱ	1		2年次	第4学期	
		放射線機器工学Ⅲ	1		3年次	第2学期	
		基礎電気工学	2		3年次	第3・4学期	
		電気電子工学	2		4年次	第1学期	
		放射線医学概論	1		3年次	第3学期	
		放射線腫瘍学	1		4年次	第3学期	
		核医学検査技術学Ⅰ	1		3年次	第2学期	
		核医学検査技術学Ⅱ	1		3年次	第3学期	
		医療安全管理学	1		4年次	第3学期	
核医学検査技術学特講	1	4年次	第4学期				
合 計				24			

システムマネジメントコース (平成29年度入学者に適用)

コース概要：

生産システムを定量的に最適化し、安全かつ効率的な運用の方法を学ぶと共に、関与する人間の特性と関連づけて計画・管理する方法について学ぶ。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要	
				年次	期		
必修科目	教養教育科目	機械システム系概論	0.5	8.5	2年次～	1学期	全科目とも、2年次以降に履修すること。 なお、教養教育科目をできるだけ先に履修すること。
	専門科目	知能ロボット運用論	1		3年次～	4学期	
		システム信頼性工学	2		3年次～	1学期	
		生産システム学	2		3年次～	2学期	
		オペレーションズ・リサーチⅠ	1		3年次～	2学期	
		オペレーションズ・リサーチⅡ	1		3年次～	3学期	
		オペレーションズ・リサーチⅢ	1		3年次～	4学期	
選択科目	教養教育科目	電気通信系概論	0.5	0.5	2年次～	1学期	←所属学部と同科目をもって替える。 ←所属学部と同科目をもって替える。
		情報系概論	0.5		2年次～	1学期	
		情報処理入門1	1	15	2年次～	1学期	
		情報処理入門2	1		2年次～	2学期	
	専門基礎科目	微分積分1	1		2年次～	1学期	
		微分積分2	1		2年次～	2学期	
		線形代数1	1		2年次～	1学期	
		線形代数2	1		2年次～	2学期	
		プログラミング1	1		2年次～	3学期	
		プログラミング2	1		2年次～	4学期	
		確率統計1	1		2年次～	3学期	
		確率統計2	1		2年次～	4学期	
		微分方程式1	1		2年次～	3学期	
		微分方程式2	1		2年次～	4学期	
	専門科目	画像センシング	1		3年次～	2学期	
		システム保全性工学	1		3年次～	4学期	
		エネルギー環境システム基礎論	1		3年次～	3学期	
インターフェイス設計学		1	3年次～		3学期		
合計			24				

注) 1 工学部学生は、このコースは履修できません。

2 10名に人数制限する。

環境科学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

地球環境や地域環境について理解するため、川や海、大気、土や地盤、社会、文化など多様なメニューの中から自分の知りたい「環境」について学ぶ。

科目区分	授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履 修 年 次	摘 要	
選 択 科 目	専門基礎科目	技術者倫理 環境と生物 地球と環境 気象と水象 環境と地理 基礎地球科学 実践型水辺環境学及び演習Ⅰ 実践型水辺環境学及び演習Ⅱ	1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5 1.5	6	1年次～ 1年次～ 1年次～ 1年次～ 2年次～ 1年次～ 1年次～ 2年次～	
	専門科目	水質学A 水質学B 環境影響評価学 環境アナリシス1 環境アナリシス2 環境情報モデル学1 環境情報モデル学2 環境数理生物学1 環境数理生物学2 環境統計科学Ⅱ-1 環境統計科学Ⅱ-2 環境水理学 景観論 地下水工学 河川環境学 大気環境学 環境計画学 地域景観論 水域環境管理学 土壌圏管理学 地域開発論 環境経済学 環境問題の人文社会科学 地域経済学 環境気象学 森林環境論 労働環境工学 環境有機化学Ⅰ 環境有機化学Ⅱ	1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1.5 1.5 1.5 1.5 1 1.5 2 1.5 1.5 2 1.5 2 1.5 1.5 1.5 1 1		18	2年次～ 2年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 1年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～ 2年次～ 2年次～ 2年次～ 1年次～ 3年次～ 3年次～ 3年次～
合 計			24			

- 注) 1 履修希望者は環境理工学務事務室教務担当へ相談すること。
2 履修に当たっては、先ず、専門基礎科目を修得することが望ましい。

農芸化学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

生物が有する優れた機能について、化学的、生化学的及び分子生物学的解析とそこから導き出された生理活性物質、新規酵素、有用遺伝子などの生物資源に関する基礎及び応用展開を学ぶ。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要	
				年次	期		
必修科目	専門基礎科目	農学概論1	1	6	3年次	1学期	
		農学概論2	1		3年次	2学期	
		農生命化学1	1		3年次	1学期	
		農生命化学2	1		3年次	2学期	
		農芸化学コース概論1	1		2年次	3学期	
		農芸化学コース概論2	1		2年次	4学期	
	専門科目	有機化学1-1	1	8	3年次	1学期	
		有機化学1-2	1		3年次	2学期	
		生物化学1-1	1		3年次	1学期	
		生物化学1-2	1		3年次	2学期	
		応用微生物学1-1	1		3年次	1学期	
		応用微生物学1-2	1		3年次	2学期	
		分析化学1	1		3年次	1学期	
		分析化学2	1		3年次	2学期	
選択科目	専門基礎科目	基礎微生物学1	1	2	3年次	1学期	
		基礎微生物学2	1		3年次	2学期	
		基礎分子生物学1	1		2年次	3学期	
		基礎分子生物学2	1		2年次	4学期	
		応用植物科学コース概論1	1		2年次	3学期	
		応用植物科学コース概論2	1		2年次	4学期	
		応用動物科学コース概論1	1		2年次	3学期	
		応用動物科学コース概論2	1		2年次	4学期	
		環境生態学コース概論1	1		2年次	3学期	
	環境生態学コース概論2	1	2年次	4学期			
	専門科目	有機化学2-1	1	14	2年次	3学期	
		有機化学2-2	1		2年次	4学期	
		生物化学2-1	1		2年次	3学期	
		生物化学2-2	1		2年次	4学期	
		応用微生物学2-1	1		2年次	3学期	
		応用微生物学2-2	1		2年次	4学期	
		遺伝子工学1	1		2年次	3学期	
		遺伝子工学2	1		2年次	4学期	
		有機化学3-1	1		3年次	1学期	
		有機化学3-2	1		3年次	2学期	
		生物化学3-1	1		3年次	1学期	
		生物化学3-2	1		3年次	2学期	
		応用微生物学3-1	1		3年次	1学期	
		応用微生物学3-2	1		3年次	2学期	
		生物物理化学1	1		3年次	1学期	
		生物物理化学2	1		3年次	2学期	
酵素化学1		1	3年次		1学期		
酵素化学2	1	3年次	2学期				
食品生化学1	1	3年次	1学期				
食品生化学2	1	3年次	2学期				
食品化学1	1	3年次	3学期				
食品化学2	1	3年次	4学期				
生物有機化学1	1	3年次	3学期				
生物有機化学2	1	3年次	4学期				
細胞生化学1	1	3年次	3学期				
細胞生化学2	1	3年次	4学期				
有機構造解析学1	1	4年次	1学期				
有機構造解析学2	1	4年次	2学期				
生体高分子解析学1	1	4年次	1学期				
生体高分子解析学2	1	4年次	2学期				
合計			30				

注) 全科目とも2年次の第3学期以降に履修してください(先ず、専門基礎科目を修得しておくことが望ましい)。

農学部学生は、このコースは履修できません。

応用植物科学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

植物が有する多様な機能に関する分子生物学的、分子遺伝学的基礎を学ぶとともに、作物の育種、栽培および収穫物の利用という一連の生産過程を体験も取り入れて学び、作物生産の基礎を習得する。

科目区分	授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履 修 年 次		摘 要	
				年	期		
必修科目	専門基礎科目	農学概論1	1	7	3年次	1学期	
		農学概論2	1		3年次	2学期	
		農業生物学1	1		3年次	1学期	
		農業生物学2	1		3年次	2学期	
		応用植物科学コース概論1	1		2年次	3学期	
		応用植物科学コース概論2	1		2年次	4学期	
		農場体験実習	1		3年次	夏季集中	
選択科目	専門基礎科目	農生命化学1	1	4	3年次	1学期	
		農生命化学2	1		3年次	2学期	
		農業資源学1	1		3年次	1学期	
		農業資源学2	1		3年次	2学期	
		基礎遺伝学1	1		2年次	3学期	
		基礎遺伝学2	1		2年次	4学期	
		基礎分子生物学1	1		2年次	3学期	
		基礎分子生物学2	1		2年次	4学期	
	専門科目	植物遺伝学1	1	18	3年次	1学期	
		植物遺伝学2	1		3年次	2学期	
		植物生理学1	1		2年次	3学期	
		植物生理学2	1		2年次	4学期	
		果樹園芸学1	1		3年次	1学期	
		果樹園芸学2	1		3年次	2学期	
		栽培学1	1		3年次	1学期	
		栽培学2	1		3年次	2学期	
		植物病理学1	1		3年次	1学期	
		植物病理学2	1		3年次	2学期	
		植物形態学	1		2年次	3学期	
		植物栄養学	1		2年次	4学期	
		農産物生理学1	1		3年次	1学期	
		農産物生理学2	1		3年次	2学期	
		農産物利用学1	1		3年次	3学期	
		農産物利用学2	1		3年次	4学期	
		遺伝子工学1	1		3年次	3学期	
		遺伝子工学2	1		3年次	4学期	
		植物育種学1	1		3年次	3学期	
		植物育種学2	1		3年次	4学期	
花卉園芸学1	1	2年次	3学期				
花卉園芸学2	1	2年次	4学期				
果樹生産管理学1	1	2年次	3学期				
果樹生産管理学2	1	2年次	4学期				
作物学1	1	3年次	3学期				
作物学2	1	3年次	4学期				
野菜園芸学1	1	3年次	3学期				
野菜園芸学2	1	3年次	4学期				
合 計			29				

注）全科目とも2年次の第3学期以降に履修してください（先ず、専門基礎科目を修得しておくことが望ましい）。

農学部学生は、このコースは履修できません。

応用動物科学コース（平成29年度入学者に適用）

コース概要：

人類の福祉に貢献するものとしての「家畜」とはいかなる存在であるかについて学ぶ。家畜の成立過程とその意義、さらに近年の新たな人との関係、および将来期待される応用の可能性についても考える。

科目区分	授 業 科 目	単 位	修 了 要 件 単 位 数	履 修 年 次		摘 要	
				年	期		
必修科目	専門基礎科目	応用動物科学コース概論1	1	2	2年次	3学期	
		応用動物科学コース概論2	1		2年次	4学期	
	専門科目	動物生産管理学1	1	10	3年次	1学期	
		動物生産管理学2	1		3年次	2学期	
		動物生理学1	1		3年次	1学期	
		動物生理学2	1		3年次	2学期	
		動物育種学1	1		2年次	3学期	
		動物育種学2	1		2年次	4学期	
		畜産食品学1	1		3年次	1学期	
		畜産食品学2	1		3年次	2学期	
動物生殖生理学1	1	2年次	3学期				
動物生殖生理学2	1	2年次	4学期				
選択科目	専門基礎科目	農学概論1	1	4	3年次	1学期	
		農学概論2	1		3年次	2学期	
		農業生物学1	1		3年次	1学期	
		農業生物学2	1		3年次	2学期	
		基礎遺伝学1	1		3年次	1学期	
		基礎遺伝学2	1		3年次	2学期	
	専門科目	動物遺伝学1	1	10	2年次	3学期	
		動物遺伝学2	1		2年次	4学期	
		動物栄養学1	1		2年次	3学期	
		動物栄養学2	1		2年次	4学期	
		動物応用微生物学1	1		2年次	3学期	
		動物応用微生物学2	1		2年次	4学期	
		動物細胞科学1	1		3年次	1学期	
		動物細胞科学2	1		3年次	2学期	
		栄養生化学1	1		3年次	3学期	
		栄養生化学2	1		3年次	4学期	
		動物組織・形態学1	1		3年次	1学期	
		動物組織・形態学2	1		3年次	2学期	
		動物発生工学1	1		3年次	1学期	
		動物発生工学2	1		3年次	2学期	
実験動物科学1	1	3年次	1学期				
実験動物科学2	1	3年次	2学期				
動物生理学3	1	3年次	3学期				
家畜伝染病学	1.5	3年次	夏季集中	(隔年)			
食品衛生学	1.5	3年次	夏季集中	(隔年)			
合 計			26				

注) 全科目とも2年次第3学期以降に履修してください(先ず、専門基礎科目を修得しておくことが望ましい)。

農学部学生は、このコースは履修できません。

環境生態学コース（平成28年度～平成29年度入学者に適用）

コース概要：

地域から地球環境を対象として環境と生態系、生物群集と個体群の仕組み、人間活動から見た食料確保と供給について生態学・経済学・情報工学の視点から総合的に学習する。生物多様性と進化、地球温暖化を含む気象生態と砂漠化という地球レベルの環境問題と、食料の生産基盤と技術、生産システムと流通、資源管理と地域計画を発展的に学習する。

科目区分	授業科目	単位	修了要件 単位数	履修年次		摘要			
				年	期				
必修科目	専門基礎科目	農学概論1	1	4	3年次	1学期	(隔年)		
		農学概論2	1		3年次	2学期			
		環境生態学コース概論1	1		2年次	3学期			
		環境生態学コース概論2	1		2年次	4学期			
選択科目	専門基礎科目	農業資源学1	1	4	3年次	1学期			
		農業資源学2	1		3年次	2学期			
		生態学概論1	1		3年次	1学期			
		生態学概論2	1		3年次	2学期			
		農業生物学1	1		3年次	1学期			
		農業生物学2	1		3年次	2学期			
		専門科目	地域環境管理学		1	22		3年次	1学期
			生物多様性保全学		1			3年次	2学期
	森林保全学1		1	3年次	2学期				
	森林保全学2		1	3年次	1学期				
	動物生態学1		1	3年次	1学期				
	動物生態学2		1	3年次	2学期				
	農業経営学1		1	3年次	1学期				
	農業経営学2		1	3年次	2学期				
	農業気象学		2	3年次	夏季集中				
	応用生物統計学1		1	3年次	1学期				
	応用生物統計学2		1	3年次	2学期				
	農業ロボット工学概論1		1	3年次	1学期				
	農業ロボット工学概論2		1	3年次	2学期				
	樹木生理生態学1		1	3年次	1学期				
	緑地保全学		1	2年次	3学期				
	土壌環境学		1	2年次	4学期				
	基礎昆虫学		1	3年次	3学期				
	水系保全生物学		1	3年次	4学期				
	農業経済学1		1	2年次	3学期				
	農業経済学2		1	2年次	4学期				
	資源管理学1		1	3年次	1学期				
	資源管理学2		1	3年次	2学期				
	生物生産機械学1		1	2年次	3学期				
	生物生産機械学2		1	2年次	4学期				
	農環境物理学1		1	2年次	3学期				
	農環境物理学2		1	2年次	4学期				
	食料情報学1	1	3年次	1学期					
	食料情報学2	1	3年次	2学期					
農村計画学1	1	3年次	1学期						
農村計画学2	1	3年次	2学期						
食料政策学1	1	3年次	3学期						
食料政策学2	1	3年次	4学期						
農業協同組合論1	1	3年次	1学期						
農業協同組合論2	1	3年次	2学期						
合計			30						

注) 全科目とも2年次第3学期以降に履修してください（先ず、専門基礎科目を修得しておくことが望ましい）。

農学部学生は、このコースは履修できません。